



2019-20 年度地区方針「グローバルに考え 地域社会とつながり ロータリーを成長させよう」

本日 第2350回 2019年10月12日(土) No. 2233

本日のプログラム Today's Program

尾張旭市民祭協賛 苗木配布

担当者:社会福祉委員会

点 鐘 9:30

於スカイワードあさひ イベント広場南

前回 第2349回 2019年10月4日(金) 記 録

- 斉 唱:「君が代」
- 出席者: 会員 24 名中 16 名出席 出席率 66.66%
- ゲスト: 尾張旭市子ども会連絡協議会
 スポーツ担当 佐伯 愛美様
 〃 諏方 英子様
 尾張旭市民生委員会児童委員協議会
 会長 秋田 誠三様
 尾張旭市共同募金委員会
 書記 初山みさき様
 2019 年度米山記念奨学生
 オトゴンバートル・ドルジンスレンさん

2 自分の向かう方向・方針を常に組織に言い続けること。そして、日々、組織の全員を、自分にとってかけがえのないものと思い慈しんでいることだと思います。

組織のTOPグループにいる人たちは、自立しており、ややもすると暴走することもあります。それは組織の発展の「萌芽」になるので、潰すのではなく育てる方向へ導き、それが失敗してもTOPが責任をとることです。

また、組織のなかでは、役にたつひと、たたない人さまざまですが、TOPは常に一番下の人に注力しなければなりません。

もし、簡単に、一番下の人を切れば、次の人、次の人と際限なく広がり組織を衰退させることになります。一番下の人ストップなんですね。こんなところかな～、TOPの仕事といえは10年に一度くらい組織の進む方向を決断することかな～。

会長あいさつ 加藤 清久



本日は組織の中のTOPのあり方についてお話します。

ここにお集まりの皆さんは、それぞれ組織のTOPですので、「釈迦に説法」かもしれませんが、私

も40年間、会社を経営してきた経験から、少しでもお役にたてばと思い話し致します。

- 1 おおよそ組織のTOPという者は、
- 1 いつも、最終的に自分が責任をとると「コミット」していること。

幹事報告

- ・10/3(木)第2回 50周年記念事業実行委員会
 於美舟 箕輪実行委員長 他委員 出席
 本日の会合: 第7回理事役員会 於尾張旭市商工会館内 第1会議室 13:40～
 次回の例会: 尾張旭市民祭 苗木配布 於スカイ

経済と地域社会発展

	10月18日(金)	10月25日(金)	11月1日(金)	11月10日(日)
例 会 予 定	セミナー例会 卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:産後指導士 田中 祐子様 演題:「産後10年でも間に合うお家でできる骨盤ケア」	卓話担当者:プログラム委員会 卓話者:地区研修委員 古田 嘉且君 (江南RC) 演題:「ロータリー雑感ー新会員研修に因んでー」	卓話担当者:米山記念奨学委員会 卓話者:地区米山記念奨学委員会 副委員長 小栗 正章君 演題:「ロータリー米山記念奨学事業について」	(8日振替分) RI 第2760地区大会 ホストクラブ:名古屋清須RC 於ナゴヤキャッスルホテル

ワードあさひ AM8:30 集合
AM9:30 点鐘
WFF 例会 於 栄久屋大通公園
PM4:30 点鐘 PM6:00 懇親会
於 神楽家

おめでとー



○誕生日祝福

10月4日 菊田 利昭君

10月6日 井田 武憲君

妻 えつ子様

10月22日 古橋 裕志君

○結婚記念日祝

10月4日 富田 晃君

10月27日 箕輪 良孝君

ニコボックス

○本日は共同募金のお願いにあがりました。RCの皆様方とは色々とお世話となることばかりで申し訳なく思っておりますが、宜しくお願い致します。

尾張旭市民生委員会児童委員協議会

会長 秋田 誠三様

○秋田誠三先輩、よくおいでいただきました。楽しんで行って下さい。 加藤 清久君

○尾張旭市子ども会連絡協議会のみなさま、ようこそおいでいただきました。

加藤 清久君、森井 晴生君

○米山記念奨学生ドーギーさん、ようこそおいでいただきました。二年間、よろしくお願ひします。

加藤 清久君、岡本 和士君、金森 俊輔君

桜井 雅博君、田中 祐子君、谷口 亜弥君

中森 正裕君、森 康美君、森井 晴生君

山田 直樹君

○結婚記念日を祝っていただき。

富田 晃君、箕輪 良孝君

○妻の誕生日を祝っていただき。 井田 武憲君

○古希を迎えました。 古橋 裕志君

○本日の卓話を担当します。宜しくお願ひ致します。
山田 直樹君

ミニスポーツ大会協賛



尾張旭市子ども会連絡協議会主催 ミニスポーツ大会

メダルを寄贈いたしました。

尾張旭市子ども会連絡協議会

スポーツ担当 佐伯 愛美様

2019年度米山奨学生奨学金贈呈



2019年度米山記念奨学生

オトゴンバートル・ドルジン

スレンさん

第7回理事役員会

日時：2019年10月4日（金）13:40～

場所：尾張旭市商工会館内 第1会議室

議題：1) 会長からの報告（加藤会長）

- ・消費税改正に伴う会館使用料請求金額変更を承認。

・中部経済新聞社協賛は見送る事になった。

2) 9月度会計報告（西尾会計委員長）

・了承された。

3) 月見例会決算報告

・了承された。

4) 10月18日（金）セミナー例会について

・担当の確認をした。

5) その他の件

・例会の時間厳守について理事会で話し合い、今後も検討していく。

・IM記念品について。

卓話



今日はガバナー補佐と地区の米山委員会の委員長の立場からクラブの皆様へ雑話と題してお話をさせていただきます。来月地区米山委員会から小栗副委員長が卓話へ訪問していただきますので、米山の

現状についてはその折に聞いてください。一つ言えるのは、今米山奨学会への全国からの寄付が平均して14億円に達しており、これはR財団への日本からの寄付総額を上回っております。米山への理解、協力が着実に進んでいると実感しています。また世話クラブの多くが現在預かっている奨学生との関係が大変友好に推移しており、本来の米山のあるべき姿が反映されていると思います。奨学期間終了後の世話クラブとのお付き合いが大きな成果を生んでいくと思います。クラブ支援を希望するクラブも必ず毎年でてくるようになりました。クラブ米山支援については、世話クラブの大小によって奨学生にとっては不公平が生じる可能性があります。そこで本部である公益財団法人ロータリー米山記念奨学会では救済策としていくつかの複数のクラブが協力して引き受けることを許可いたしました。これによって単独で年間の奨学金の半分を寄付しなければいけないハードルが下がることになりました。現在は中国台湾韓国の奨学生の数が減り、ベトナム、マレーシア、インドネシア、ウズベキスタン等の奨学生が増えています。

ガバナー補佐としては、東尾張分区12クラブの内、今までに10クラブの訪問が終わっています。また次回にお話しする機会があれば12クラブ訪問しての感想を述べたいと思います。一つ今感じていることは大きいクラブ小さいクラブにかかわらず変わりつつあるロータリークラブに対して、そういう考えもあるなどという柔軟な考え方、クラブに適した改革を行っていくとする前向きな姿勢があるクラブとないクラブがはっきりとわかれています。特に年配のメンバーはそのところを、自分たちの考え方をとすると押し付けがちになり、閉そく性を生み出しているいくつかのクラブが見受けられます。私たちもくれぐれもそうならないようにしていきたいと思ひます。現在の転換期をチャンスにしてクラブを変えていくべきと思ひます。残せる伝統は私たちの努力でいくらかでもあると思ひます。四大奉仕事業を積極的に質量ともにふやしていくべきと思ひます。以外に奉仕事業がどのクラブも少ないように感じました。見直しをお願いします。